

いたわり

2009年11月号 No.106

くすりのキュート(救)健康新聞

第222回 「くすりのキュート 玉名店 健康教室」
 <日時> 11月19日(木) 午後2時~3時
 <場所> くすりのキュート 玉名店 2階 健康教室

第47回 「くすりのキュート 植木店 健康茶話会」
 <日時> 11月26日(木) 午後1時30分~2時30分
 <場所> くすりのキュート 植木店 店内

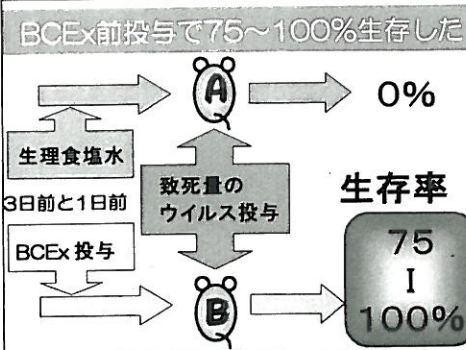
第11回 「緑の輝きバスツアー」←毎回大好評です!
 <日時> 11月9日(月) 午前10時~午後3時
 クロレ工業九井工場見学 → 自然食バイキング「ティア」

イボが2週間で消えた!

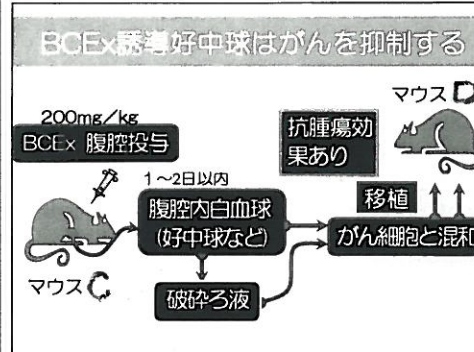
徳島県の知人の話です。今年の4月頃、手の薬指に小さな粒の様なものができ、徐々に大きくなって表面がカリカリのようになっていったそうです。徳島で一番大きな皮膚科を受診したら「ウイルス性のイボ」と診断され、治療は週一回「液体フォソ」で焼き、一年間お通うお言われました。ドクターが表面をかみソリで削ると赤い点々が10こくらい見えて、これがウイルスだとおの事、近くの皮膚科を受診してみたら、同じ診断で、やはり液体フォソを使い治療に一年かかると言われ、ショック! フォソ治療はかなり痛く、しかも赤い点々はどんどん増えて20こ以上になってしまったそうです。ふと思ひ出して、インフルエンザのウイルスにも効くのではと、おののイボのウイルスにも効くかもしれないと「BCEx503」を綿棒につけて塗って寝たそうです。(7/31)翌朝、イボの下半分が水がたまたまようぶようぶに変化していてビックリ!! それから毎日503を塗っていたら、8/2、表面が硬くなり赤い点々が黒くなっている。8/3、全体が黒く変色し更にカチカチに硬くなった。8/6、増々硬くなりウイルスの点々は見えなくなった。8/7、はがれ始めた。下の薄皮はきれいな状態。8/8、きれいはがれたが薄皮の部分をよく見ると赤い点が2個あり、ショック! 黒くなくきれいな赤色なので、まだしばらくかかるのか... 8/13、ウイルスは全く見られなくなった。7/31 → 8/13の2週間で完治した。2カ所の病院で1年間かかると言われたのに!! この経験で、実際は503がウイルスをやっつけて殺すのを直に目で見れて納得した!! と言っていました

スゴイ!! 503か!

白血球は記憶する



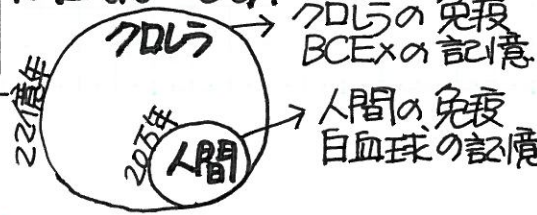
生き残ったのです。前もって投与したBCExが白血球を活性化していた事になります。



私達人類の祖先は20万年前に地球に誕生したと言われていいます。身近にある草や虫を食べながら、これは毒だったとかこれは食べたら元気になったとか、何代も何代も命をつなげながら記憶してきました。それが私達の免疫です。クロレアの誕生は22億年前で地球に始めてきた生命体です。22億年もの長きにわたり、様々な毒や外敵と戦いながら現代まで命をつなげてきました。今、地球上の全ての生物の中で一番多くの戦った記憶を持っている事でしょう。「BCEx」は、クロレアが自分の細胞の回りに放出した自分自身を守る為の体液、つまりクロレアの白血球です。22億年間のありとあらゆる戦いの記憶がひしりとつまえたのがBCExなのです。クロレアの白血球「BCEx」は地上最大の免疫力を獲得しています。だからマウスに投与しても、私達人間が飲んでも白血球が活性化して免疫力が向上するのです。

BCExとは「バイオリック源液」と「BCEx503」の主成分です。マウスに致死量のウイルスを投与するのですが、その3日前と1日前にAのマウスには「生理的食塩水」をBのマウスには「BCEx」を与えておきます。致死量のウイルスですから、当然ネズミは死んでしまい、Aのマウスは1匹も生き残らず死んでしまいました。ところがBCExを与えていたBのマウスは75~100%と、ほとんどが生き残ったのです。前もって投与したBCExが白血球を活性化していた事になります。

今度は、マウスCにBCExを投与して、1~2日以内にマウスCの白血球だけを取り出し、がん細胞と混ぜて、マウスDに移植します。するとマウスDに植えつけられた癌が小さくなったという事です。マウスDにはBCExを投与していません。投与したのはマウスCでBCExに接触した事のある白血球です。つまりBCExに接触した白血球が活性化して、それを記憶したまま作用したという事です。



「いざ!!」
 11月時の
 ファースト
 キョイス!
 「BCEx503」 「バイオリック源液」

